田舍荘子

東洋
913
C

KODAK Color Control Patches
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White
Kodak
Scale Black

10517
教科書文庫
1
201
(0-70)
コドモ図書
ヨ972

教育学部

713
C

東京大学
Tokyo

東京大学
図書
456332

秋齋博山先生選

田舍莊子

柳原蔦山

全部
四卷

田舍莊子序

大塊意氣平淡名を風しいい
多郷意是と淡面ニ天地の間ニ
生涯ニ六絃琴金ニ天地の間ニ来
ものなりと云ふ人丹ニ例て
刺の序ニ古代ニ奇ニ怪ニ金

書籍は俗の情也宜しくとゝのへ
ものに任せ四季四時ともに其
時々を稼て道をもとめ口腹
をもて味はひ是を生を楽
俗人の如く仮りの日暮しの田舎
住まひ書籍なり書林某目録

神を祭り酒に乗せ楽しみ終て
寝ねて
何ぞ詩せざるべからん我生を楽しむ也
何ぞ詩せざるべからん我生を楽しむ也
何ぞ詩せざるべからん我生を楽しむ也

いもゆの葉をかり耶ゑを焼漆器
ろ筆しる假名の文字を

享保丁未年九月日　劉山郭

西百川書

田舍莊子卷上

一門林

熊蟠虎伏
木屯自博
狡兎疑狐
鵲蛸誠虹
鷹鸇特矢
鷺鳥序樹

蠅蝶妻他

蠅蝶小酒で戯れ合ひしとれと茶出せ
ゆびしを動かすまねの仕様ぶりにはつる
ふりをたべやうく茶の飲まりなりて
愛ましてありつゝん今他て蝶こるり
死況その孫者を喪の新朋自在の才
やたりねむりに陶れれとも其悲しくく
ゝや今成小をわりさい者とも知のの思治

豊後十　伏貴樹山長選

つ[illegible]くんのまふ[illegible]ありて[illegible]ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]

きりて物とそりて、氣低しく飛て面白く
のんびりんや茶出るを低して蝶とそりて
とべども其間いそがずして蝶とそりて
とび方にを伸して茶出の間八手に低して
おぼえそりて今おりて蝶を其時を茶出
お延ずそりてそりてそしてこの蝶とそり
小蝶とそりて越あるく蝶とそりて
のんびりそりく蝶とそりて人をりて
ちゝ長とあるて居をとそりの蝶とそりく蝶

玄蝶とそりて蝶とそりて今又蝶とそり
蝶とそりて蝶とそりて低とそりて
の九月氣低しく蝶とそりて蝶とそり
蝶とそりて蝶とそりて蝶とそり
ばくんのんやりそりて蝶とそりて
蝶とそりて蝶とそりて蝶とそりて
蝶とそりて蝶とそりて蝶とそりて
蝶とそりて蝶とそりて蝶とそりて
蝶とそりて蝶とそりて蝶とそりて

もとは河内の鳥飼の人なりしが摂津の国
摂津の鳥飼と云ふ所に住居せしが或時
夢に見るやうは我は住吉の明神なり
汝が信心を感じて来れり我を祭れと
夢覚めて鳥飼の人なりしが住吉の
明神を祭りて社を建て住吉の
明神と云ふ所に住居せり
其後住吉の明神の
神託にて
[illegible]

いろ〳〵の事ども
[illegible]
[illegible]
[illegible]

者の[illegible]ひやを[illegible]ふ[illegible]付[illegible]ま[illegible]ら[illegible]人の
やを[illegible]ぬ[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま

木鬼目標

[illegible]

して云ふ事なれども代々民俗相繼ぎ人を大
世の人とも世のあり様をもくらべ
ふるまひ代々人のあり様をもくらべ
に倭姫者八尋殿を造りて神主を
命の御をしへ
[illegible]

天間也遠代の事を新豎に入れ
事ばかりやすしとうるはしき
[illegible]
[illegible]
[illegible]

秋ごろ、くく月の月を見ゐて、
月の月どもをいとおもしろく、
秋ごろ、行の事もおぼえぬまでに、
秋花のいろいろ、
すべて、秋の月、
すべて、秋の月、
すべて、秋の月

くゝ有りて一年蓄ふる賊徒をかりゝ治る
天下の人名を知れり蓄ふる所人の能をも
心中に知て人の長をもとり用ひて人の短
所を捨て人の長をもとり用ひ知らるゝ故
か物しるを成て人名を小出今てつゝもれば
身をさき物て成れば人物者天下の賢聖人等を
て成かりひゝ人民腦を焼き水火の死をも
らく本をあり思慮て年をもてこれらを
治る事人民をおもて事人民は小一なり水をりん

小成て物金を倉盗に作る事能金
既に盗賊を解りく成人を盗賊人を任
に盗賊を解りく成人を盗賊人を任
の事人物をこうしゝ其物とれば
時人は本性と成られて
ちつゝをん信を以為り能民嫌をもて
を他人をふゝ取ることハ人は人
繁る為の今御物ゝてゝ成物を取る

[illegible]

[illegible]

我風俗ハ人を殺ることもの[illegible]
[illegible]ありて我水戸[illegible]
うしなや

蛾蛇問

蛾蛇小用くゝ我[illegible]
[illegible]き事[illegible]
[illegible]

人ハ我ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

凡人を蓋の用のごとく所々に置べし
ふりくべき所々に何ぞ物を置所多し
種々の樹部分を成用べし遠近の作樹
に適人の心を考本小樹を以のおり山を部者
のり野小川をとりのおりを以を行ものの
べし樹に用しく曲り枝を生ずるを上
へ長上に上り樹に長を生ずるを上
に伸び枝に入りて長をとりて枝を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゝ鳴ハ子ハ父ヲ母ハ親ヲ国ニ忠ニ家ニ孝シ
ムルヲ以テ本トスル故ニ

うひて國に歸るべきなれば國の人々まのあたりに
命を捨てる我が主君をいかにせんと思ひ
かの秘文は我國の宝なれば
國のやぶれ我が身をかへりみるべきや
とのたまへども奈良れ國敵の目前
天運なりとて我が主をいかりて奪ふ
者をもとめるとしても造化中を
ひとりして我がべきまくに從ふ私者
なり

電伝那ひ我が身をかへりみるべきや
とまれとも聞かやらやいさ
なやらのゆきかたをしらぬ
ひもまたまとまれかのひのあるまら
にうらき者たちをもとめてあるべき
はもとも我國を宝なく我身を自
滅し後にやすて我國をうらひ

鶴小もとゝ伊勢大

鶴小もとゝ伊勢大ハ鄙にまれなる美人の
物ゝつきなれ遊ひ歌舞音曲の
もてあそびにて老ても尚さすがに
若ゝ集をよみ給へるとかゝる人ゝ
冬ゝまでもあるべき世にあらぬ
ものとて歌はかりの世にあらぬ
ものとて歌はかりの世にあらぬ
ものとて歌はかりの

[illegible]

[illegible]

俗く過ぎ八ハ孫く者皆ひくけし

鹿島明神撰

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とゝふ風流うんとを人歌の左様成し
ゝ物語を蒙古の人歌の左様成し
ゝ物語を蒙古の人歌の左様成し
ゝ物語を蒙古の

概して人民は聖者を心服して仰慕する
はまことに人民の心服ひいては我が
民族の分民族がりてそれ聖人ひとりに
天性の優劣ありて聖人をもとめたもうて
能まりぬ

田舎莊子巻上終